

笑 顔

☆まあいじかん☆

篠山東中学校 3年1組学級通信

第 50 号

2018(平成30)年10月12日発行

発行者 松田 淳二

体育祭の振り返り(文化祭に向けて編)

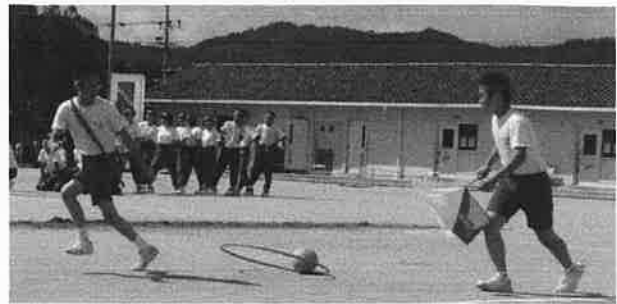
体育祭を終えて、次への目標である文化祭をどんな風にしたいのかを載せます。これからの練習のベースとして心に留めて練習に励んでいこう。

【文化祭に向けて】

- 体育祭と同じ感じで心を一つにして歌ったり、演技をしたりしたい。何事にも挑めるようにしっかり頑張りたい。
- 合唱では1人ひとりが大きな声を出し、観客のみなさんが3の1の迫りに驚くような合唱にしたい。演劇では、応援のように今までの感謝を伝えるとともに3の1の絆で他学年には負けない素直さや明るさを表現し、3年生最大の実力を発揮したい。3年間の集大成として楽しみたい。
- 42人全員で文化祭をつくりたい。
- 観る人や聴く人に感動が与えられて「流石3年生やな」って思ってもらえるような文化祭にする。
- このままの団結と心を一つにすることを忘れず合唱や演劇を成功させたい。そのために練習や小道具をつくるときでも全員の気持ちを心を一つにしていくことが大事だ。
- 集中力を高めて努力していく。
- 合唱もきれいにハモれるから3年間で一番良い文化祭にしたい。
- 体育祭の良い流れをそのままキープして文化祭に挑めるようにする。歌や演劇でみんなの心を動かせるようにみんなとやりきる。
- 心を一つに何事にも挑み成功させたい。
- 体育祭よりもっとレベルの高い演劇や合唱ができるようになりたい。結果より内容に力を入れていきたい。
- 練習中からみんなで助けあったり、アイデアを出し合ったりしながらみんなで心を一つにして挑んでいきたい。
- 自分の役割をしっかり果たしてみんなが良い思い出で終われる文化祭にしたい。太鼓の練習の成果を発揮したい。



- 心を1つに最高の演劇、合唱をつくり、田園交響ホールで合唱をしたい。練習から心を1つに一つの物を創り上げてよい発表にしたい。
- 自分たちのしてきたことすべてを出し切って、みんなでやり抜くことと団結力をさらに上げていくことである。
- 自分がしたいという感情だけで行動しないで、誰がその仕事に合っているかを見極めてその仕事をしたい。
- 3年間の感謝の気持ちを伝えたい。
- クラス愛を持ち続けながら本番だけでなくそれまでの過程を大切にしたい。
- 文化祭でも心を一つにして合唱では、一体感あふれるように指揮に合わせていきたい。心に残る文化祭にしたい。
- 体育祭と同じように42人全員が心を一つにして挑めるような文化祭にしたい。
- 一人ひとりが積極的に意見を出して準備の時から常に挑んでいき、多くの人に感動を与えることができる文化祭にしたい。また、3の1の持ち前の明るさ、優しさ、素直さを劇や合唱で出せたらいいなと思う。
- 合唱では、みんなで、合わせて歌って音の高低を表したい。
- みんなが楽しんで悔いの残らない文化祭にしたい。
- 1人が声を出すのではなく42人全員が声を出し合い、このメンバーでしかできない歌や演劇を創り上げたい。
- クラスで心を一つにしてしっかり練習する。
- クラス全員が熱意をもって取り組み、2冠を達成したい。良い思い出になるように楽しんで練習、本番をやりたい。
- このまま波に乗っていきたい。この仲間と最後の行事だということをかみしめていきたい。
- 体育祭で一つになった心をそのまま文化祭に持っていきたい。特に合唱ではクラスの団結力がないと美しいものはできないと思う。体育祭のようにみんなの気持ちを一つにして挑んでいきたい。
- 準備と信じて挑むことを大事にしながらがんばる。
- 悔いの残らないようにして、みんなが楽しんでできて、見ている人、聞いている人に感動を与えられる文化祭にしたい。
- 体育祭での団結力を活かして学校愛、クラス愛にあふれる文化祭にしたい。そして、沢山の関わった人たちに感謝できる文化祭にしたい。
- 自分のことができたなら他の場所を準備し手伝えるような文化祭にしたい。



平成30年度 第21回 篠山東中学校体育祭スローガン

つなげ 学校愛

～112人で限界突破～

